

岩手県企業短期経済観測調査結果（2011年9月）

調査対象数 72 社：回答数 71 社（製造業 27 社、非製造業 44 社） 回答率 98.6%
回答期間 8月29日～9月30日

1. 業況判断 D.I.

調査対象先の業況判断指数（D.I.）は、製造業、非製造業ともに前回調査比大幅な改善を示し、全産業ベースでは東日本大震災前の水準を上回った（昨年12月 17 本年3月 14 6月 24 今回9月 3）。

もっとも、これを業種別にやや詳細にみると、製造業では、電気機械、輸送用機械、鉄鋼など多くの業種で着実に改善がみられたものの、食料品の悪化を主因に、全体ではやや足踏み状態となった（前回 25 今回 22）。

一方、非製造業では、建設、卸・小売、宿泊・飲食サービスなど多くの業種で大幅な改善がみられ、これを主因に、全体でも約15年ぶりのプラス（「良い」超）となった（前回 23 今回 9）。

先行きについては、非製造業の業況改善が一服するほか、製造業でも食料品の厳しい状況が続くものの、窯業・土石の大幅改善や電気機械、輸送用機械の着実な改善を背景に、製造業全体では大幅に改善し、全産業ベースでも約5年ぶりに「悪い」超が解消する見通し（12月予測 ±0）。

（「良い」「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	10/6月	9月	12月	11/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	3	0	3	9	25	22(8)	8
素材業種	11	0	11	12	50	37(0)	13
加工業種	0	0	10	7	12	16(12)	16
食料品	40	20	20	0	50	20(50)	60
電気機械	14	14	15	25	33	16(33)	0
非製造業	32	23	26	27	23	9(23)	4
建設	29	32	25	20	15	26(22)	7
卸・小売	30	30	10	22	25	10(12)	30
全産業	20	15	17	14	24	3(17)	0

2. 売上高・収益（2011年度見通し）

2011年度の売上高は、東日本大震災の影響で、製造業の操業度が上期に生産設備の損壊や原材料・部品調達難などから大幅に低下したことに加え、非製造業の売上も建設、不動産、測量設計といった復旧関連業種を除き軒並み前年を下回ることから、全産業ベースでも前年を下回る見通し。

これを前回6月調査時点の計画と比較すると、製造業では上下期とも大幅に下振れる一方、非製造業では建設や運輸を中心に多くの業種で上振れている。

2011年度の収益は、製造業が電気機械中心に黒字転化を見込むほか、非製造業も卸・小売や建設を中心に増益となることから、前年とは様変わり的大幅増益となる見通し。

なお、前回6月調査時点の計画と比較すると、素材業種を除く多くの業種で、上期収益の上振れを眺めて、年度全体の見通しを上方修正している。

上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2010年度 (実績)		2011年度 (見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	3.6	欠損	7.0	16.4	3.6	利益	33.4	利益
			(11.4)	(8.4)	(14.0)	(93.3)	(黒字転化)	(13.0)
素材業種	1.2	欠損	18.3	25.3	11.7	欠損	欠損	利益
			(20.9)	(18.2)	(22.9)	(赤字転化)	(赤字拡大)	(45.5)
加工業種	4.0	欠損	6.3	15.9	4.6	利益	26.1	利益
			(10.9)	(7.8)	(13.4)	(2.0倍)	(黒字転化)	(16.4)
非製造業	1.9	1.9	5.4	2.3	7.9	27.9	15.4倍	12.6
			(2.3)	(3.8)	(1.1)	(36.3)	(黒字転化)	(10.6)
建設	10.4	31.8	3.9	6.8	2.2	24.1	欠損	8.1
			(4.4)	(7.9)	(2.4)	(23.9)	(赤字縮小)	(8.1)
卸・小売	0.0	16.6	6.5	3.5	9.2	77.4	2.8倍	0.3
			(0.9)	(1.6)	(0.1)	(51.2)	(2.4倍)	(14.9)
全産業	0.9	87.0	6.3	10.4	2.3	7.1倍	16.1	利益
			(5.4)	(3.1)	(7.3)	(65.5)	(黒字転化)	(2.6)

3. 設備投資（2011年度計画）

2011年度の設備投資計画は、製造業では上期に東日本大震災に伴う復旧対応投資がみられたことに加え、下期に加工業種で維持更新・能力増強投資を大幅に増加させる動きがみられることから、年度全体でみても前年を大幅に上回る見通し。

一方、非製造業では、建設が引続き慎重な投資スタンスにあるほか、情報通信が前年を大幅に下回っていることもあり、全体でも前年を下回る見通し。

なお、前回6月調査時点の計画と比較すると、製造業が上期の下振れを主因に年度全体でも下方修正となる一方、非製造業は建設や卸・小売を中心に上方修正となっている。

（前年度比）	3月調査	6月調査	9月調査
製造業	5.9%	+72.7%	+53.5%
非製造業	32.9%	40.3%	27.2%
全産業	13.2%	+35.1%	+28.4%

（ソフトウェア投資を除くベース）

上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2010年度 (実績)	2011年度(計画)		
		年度	上期	下期
製造業	20.3	53.5	17.0	2.1倍
		(8.2)	(23.7)	(9.9)
		23.5	18.5	65.2
素材業種	2.7	(8.2)	(8.8)	(5.9)
加工業種	22.2	58.4	16.9	2.2倍
		(8.2)	(24.4)	(10.1)
非製造業	42.3	27.2	27.7	26.8
		(16.2)	(4.4)	(35.7)
		70.7	21.2	83.9
建設	2.6倍	(20.4)	(31.3)	(8.6)
卸・小売	2.4倍	27.2	22.1	2.9倍
		(8.4)	(1.3)	(19.0)
全産業	26.8	28.4	6.4	53.3
		(4.7)	(21.2)	(14.0)

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL: 019-624-3622(代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>

(参考1) 各種判断 D.I 指標の推移

回答社数の構成比・%ポイント、()内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 D.I. (全産業ベース)

		10/6月	9月	12月	11/3月	6月	9月	12月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超」 「供給超」	36	38	31	23	15	6(14)	6
製商品在庫	「過大超」 「不足超」	7	9	6	6	8	6()	
仕入価格	「上昇」 「下落」	10	7	10	24	31	24(39)	23
販売価格		23	20	19	15	5	2(5)	7

(2) 生産・営業用設備判断 D.I. (「過剰」 - 「不足」)

	10/6月	9月	12月	11/3月	6月	9月	12月 (予測)
製 造 業	18	7	7	5	8	15(13)	23
非 製 造 業	7	0	2	5	8	9(5)	9
全 産 業	10	2	2	5	2	11(2)	14

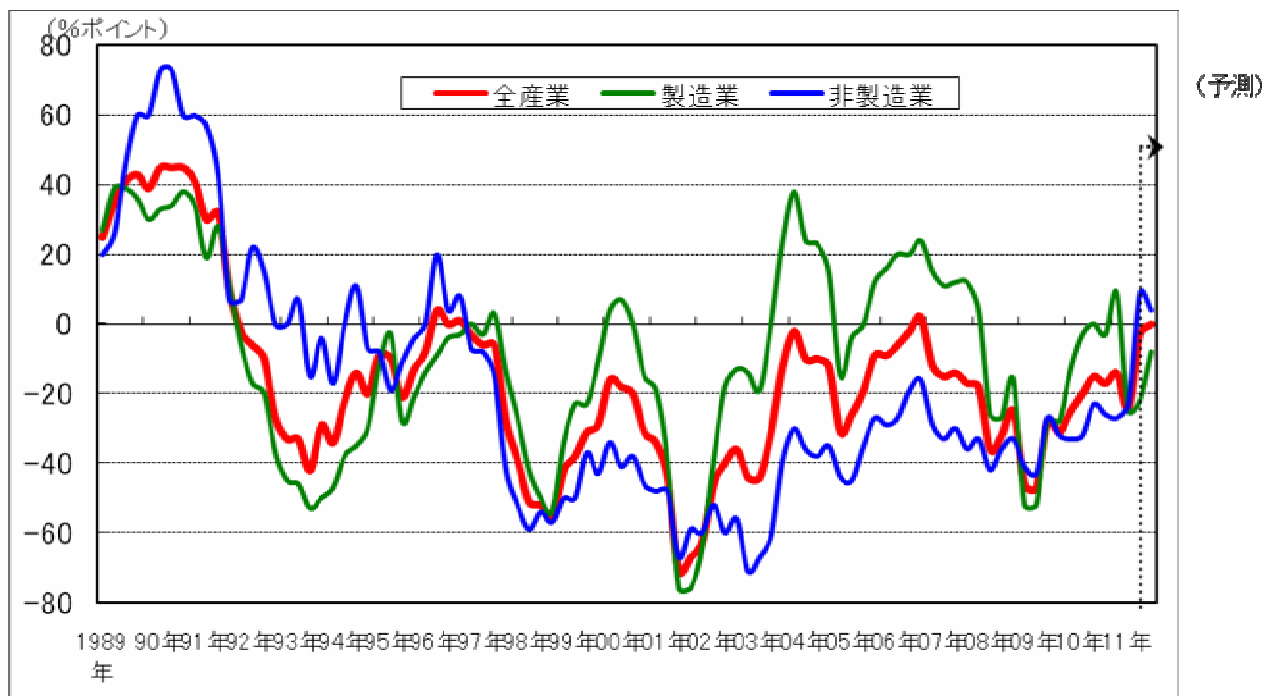
(3) 雇用人員判断 D.I. (「過剰」 - 「不足」)

	10/6月	9月	12月	11/3月	6月	9月	12月 (予測)
製 造 業	25	14	0	9	25	11(17)	11
非 製 造 業	21	15	0	12	12	4(10)	7
全 産 業	22	15	0	11	17	7(13)	0

(4) 企業金融関連判断 D.I. (全産業ベース)

		10/6月	9月	12月	11/3月	6月	9月	12月 (予測)
資金繰り	「楽」 「苦しい」	23	25	23	28	23	15()	
金融機関 貸出態度	「緩い」 「厳しい」	13	13	13	10	8	3()	
借入金利 水準	「上昇」 「低下」	3	0	3	2	2	3(8)	3

(参考2) 岩手県の業況判断D.I.の推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断D.I.の推移 ()内は前回予測。

		10/6月	9月	12月	11/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	岩手	3	0	3	9	25	22 (8)	8
	東北	9	1	2	8	19	4 (6)	2
	全国	10	4	4	4	15	5 (8)	5
非製造業	岩手	32	23	26	27	23	9 (23)	4
	東北	24	16	20	19	22	4 (29)	11
	全国	19	13	15	11	20	12 (20)	14
全産業	岩手	20	15	17	14	24	3 (17)	0
	東北	18	10	13	15	21	4 (20)	8
	全国	15	10	11	9	18	9 (15)	11